

子育て支援に関するニーズ調査

～ご協力のお願い～

この調査は、国の子ども・子育て支援法に基づき、平成30年度中に全国の市町村で実施されているものです。本市におきましても、教育・保育や地域における子育て支援に関する事業の利用状況や、今後の利用希望などを把握するため、「子育て支援に関するニーズ調査」を実施させていただきます。

調査の結果は、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長できることを目的に策定する「第2期富田林市子ども・子育て支援事業計画」〔平成32年（2020年）4月から5年計画〕に活用させていただきます。

回答は無記名とさせていただきますので、個人を特定したり、他の目的に使用したりすることはありません。本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成31年3月

富田林市

1 調査の対象

就学前児童が属する2,750世帯（無作為抽出）

※平成31年2月1日時点の住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いしています。

2 ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- ・当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。また、数字を記入するところや、ご意見を記入するところもあります。
- ・時刻を記入するところでは、24時間表記でお願いいたします。
（例）9：00～18：00、17：00まで など
- ・ご記入いただいた調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、

3月20日（水）までに ご返送ください。（切手は不要です）

調査内容についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 富田林市 子育て福祉部 こども未来室

電話：0721-25-1000（内線203）

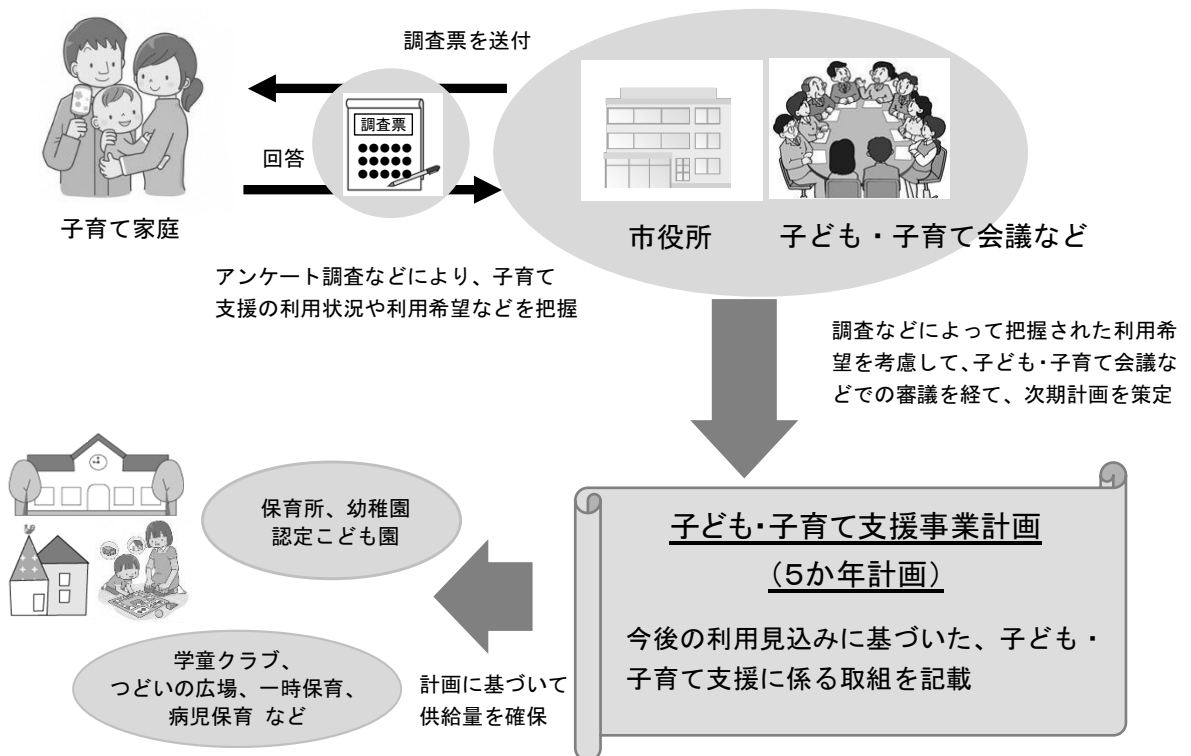
FAX：0721-24-8976



用語の定義

- 保育所 : 児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。
幼稚園 : 学校教育法に定める3～5歳児に対して幼児教育を行う施設。
認定こども園 : 保育所と幼稚園の機能をあわせ持つ施設。
子育て支援 : 子どもの健やかな成長のために行う、教育・保育をはじめとする様々な支援。

いただいたご回答は、本市の子育て支援の充実に生かされます。



★★ 「封筒のあて名のお子さん」についてご回答ください ★★

「封筒のあて名のお子さん」の平成31年3月1日時点の状況や、4月以降の希望についてご回答をいただきますよう、お願いいたします。

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------|-------------|-------------|
| 1. 富田林小学校区 | 2. 新堂小学校区 | 3. 喜志小学校区 | 4. 大伴小学校区 |
| 5. 彼方小学校区 | 6. 錦郡小学校区 | 7. 川西小学校区 | 8. 東条小学校区 |
| 9. 高辺台小学校区 | 10. 久野喜台小学校区 | 11. 寺池台小学校区 | 12. 伏山台小学校区 |
| 13. 喜志西小学校区 | 14. 藤沢台小学校区 | 15. 小金台小学校区 | 16. 向陽台小学校区 |
| 17. 小学校区がわからない() ※町名などを記入(例)常盤町、新家など | | | |

2. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 平成24(2012)年4月~平成25(2013)年3月 | 2. 平成25(2013)年4月~平成26(2014)年3月 |
| 3. 平成26(2014)年4月~平成27(2015)年3月 | 4. 平成27(2015)年4月~平成28(2016)年3月 |
| 5. 平成28(2016)年4月~平成29(2017)年3月 | 6. 平成29(2017)年4月~平成30(2018)年3月 |
| 7. 平成30(2018)年4月~平成31(2019)年2月 | |

問3 あて名のお子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。(() 内に数字を記入)

お子さんの人数()人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あて名のお子さんからみた関係で、○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 配偶者(夫または妻)がいる | 2. 配偶者(夫または妻)はいない |
|------------------|-------------------|

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(あて名のお子さんからみた関係で、○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族に子どもをみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に子どもをみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

◆問9で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
家を出る時刻（ : ）	帰宅時刻（ : ） ※24 時間表記

問10 あて名のお子さんの父親の現在の就労状況（母子家庭の回答は不要）をうかがいます。（○は1つ）

※「就労」には、自営業、家族従事者の方も含まれます。

1. フルタイム ^(※) で就労中である	}	【問10-1へ】
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）で就労中である		
4. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	【問11へ】
6. これまで就労したことがない		

※「フルタイム」とは？：「1週5日程度・1日8時間程度の就労」のことをさします。

◆問10で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
家を出る時刻（ : ）	帰宅時刻（ : ） ※24 時間表記

◆問9または問10で、「3.」、「4.」（フルタイム以外（パート・アルバイトなど）で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

（1）母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）をやめて子育てや家事に専念したい

◆問9または問10で、「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。（○は1つ） ※（ ）内には数字を記入

（1）母親

1. 就労の予定はない

2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

（2）父親

1. 就労の予定はない

2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

5. 封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している施設やサービス（※）などについてうかがいます。

※「定期的に利用している施設やサービス」とは？：1年間を通じて週1回以上利用している教育・保育サービスをさします。具体的には、保育所や幼稚園など、問13-3や問14に示す事業のことです。

問13 平日に、保育所や幼稚園などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用していますか（○は1つ）

1. 利用している → 【問13-1へ】 2. 利用していない → 【問13-5へ】

◆問13-1～4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 平日に、保育所や幼稚園などの子どもを預かる施設やサービスを定期的に利用している理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 子どもの教育や発育・発達のため

2. 保護者が働いているため

3. 保護者が働く予定、または、求職中のため

4. 保護者が親族などの介護をしているため

5. 保護者に病気や障がいがあるため

6. 保護者が学生であるため

7. その他（ ）

問13-2 現在、定期的に利用している主な施設やサービスの場所はどこですか。（○は1つ）

1. 富田林市内 2. 他の市町村（ ） ※自治体名を記入

問 13-3 年間を通じて平日に定期的に利用している施設やサービスについてお答えください。（当てはまる番号すべてに○） ※「4.」「5.」「8.」は富田林市内に実施施設はありません。

【教育・保育】

1. 幼稚園（通常就園時間だけの利用）
2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育（通常就園時間に加え、時間を延長して定期的に預かってもらう）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る、定員20人以上の保育所）
4. 認定こども園（保育所と幼稚園の機能をあわせ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（市役所に申し込んで入る、主に3歳未満の子どもを6～19人預かる施設）
6. 家庭的保育事業所（市役所に申し込んで入る、5人以下の子どもを預かる施設）
7. 事業所内保育施設（主に従業員の子どもを預かる、会社や病院など事業所内の施設）
8. 市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが子どもの自宅に訪問し、子どもをみてるサービス）

【子育て支援】

11. つどいの広場・地域子育て支援センター
12. ファミリー・サポート・センター（登録会員（地域の人）が子どもをみてるサービス）
13. その他（ ）

問 13-4 問 13-3 で答えた施設やサービスについて、どのくらい利用していますか（複数利用している場合は、その合計の日数及び時間）。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在の利用

※24 時間表記

1 週当たり（ ）日 1 日（ ）時間（ ）：（ ）から（ ）：（ ）まで

(2) 希望の利用

※24 時間表記

1 週当たり（ ）日 1 日（ ）時間（ ）：（ ）から（ ）：（ ）まで

◆問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-5 「定期的」に保育所や幼稚園などの子どもを預かる施設やサービスを利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 保護者が子どもの面倒を見ているなどの理由で、利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親せきがみている
3. 近所の人や保護者の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育所や幼稚園などに空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、質や場所など、納得できる施設やサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため、（ ）歳くらいになったら利用したい ※（ ）内に数字を記入
9. その他（ ）

◆すべての方にうかがいます。

問 14 3歳児以降（世帯所得によっては0歳児から）の保育所、幼稚園などの保育料に係わる費用が今後、無償化（または上限ありの補助）となる見込みです。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後、無償化（または上限ありの補助）になった場合、定期的に利用したい施設やサービスをお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

※「4.」「5.」「8.」は富田林市内に実施施設はありません。

【教育・保育】

1. 幼稚園（通常の就園時間だけの利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に加え、時間を延長して定期的に預かってもらう）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る、定員20人以上の保育所）
4. 認定こども園（保育所と幼稚園の機能をあわせ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（市役所に申し込んで入る、主に3歳未満の子どもを6～19人預かる施設）
6. 家庭的保育事業所（市役所に申し込んで入る、5人以下の子どもを預かる施設）
7. 事業所内保育施設（主に従業員の子どものみを預かる、会社や病院など事業所内の施設）
8. 市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが子どもの自宅に訪問し、子どもをみてるサービス）

【子育て支援】

11. つどいの広場・地域子育て支援センター
12. ファミリー・サポート・センター（登録会員（地域の人）が子どもをみてるサービス）
13. その他（ ）

◆問 14で「1.」または「2.」（幼稚園を利用）に○をつけ、かつ、「3.」～「13.」にも○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

6. 封筒のあて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業^(※)などの利用についてうかがいます。

問 15 あて名のお子さんは、現在、次の場所や事業を利用していますか。（当てはまる番号すべてに○）
※利用回数について（ ）内に数字を記入。

1. つどいの広場 ⇒ おおよその利用回数：1か月当たり（ ）回程度
2. 地域子育て支援センター ⇒ おおよその利用回数：1か月当たり（ ）回程度
3. その他、類似の事業（保育所や幼稚園の園庭開放など）
（具体名： ）
⇒ おおよその利用回数：1か月当たり（ ）回程度
4. 利用していない

問 16 問 15 の「1.」「2.」に示した地域子育て支援拠点事業^(※)について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）
※利用回数について（ ）内に数字を記入。

1. 利用していないが、今後利用したい…1か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用している回数に加え、今後1か月当たりさらに（ ）回程度、利用回数を増やしたい
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 17 地域子育て支援拠点事業について、どのようなサービスを利用したいと思いませんか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 子育て中の保護者と子どもの交流の場・遊びの場
2. 子育てに関する悩みや困り事を聞いてくれる相談の場
3. 地域の子育てに関する事業・情報の提供
4. 子どもとの日頃のふれあい方や遊び方に関する勉強会
5. 子どもの能力や個性を引き出す子育ての手法や乳幼児教育・食育に関する講習会
6. その他（ ）

※「地域子育て支援拠点事業」とは？：本市では、「つどいの広場」・「地域子育て支援センター」のことを言い、主に0～3歳の乳幼児とその保護者が気軽に集い、親子で交流したり、育児について相談したりできる場で、さまざまな子育て講座も実施しています。

・つどいの広場：「ほっとひろば」・「すこやかひろば」・「ひだまり」がそれに当たり、市内7か所に設置しています。

・地域子育て支援センター：富貴の里保育園・梅の里保育園の2か所に設置しています。

7. 土曜日、日曜日・祝日、長期休業中に子どもを預かる施設やサービスの利用希望についてうかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、保育所や幼稚園など子どもを預かる施設やサービスの定期的な利用の希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ○は1つ）
※親族・知人による預かりは含みません。また、利用には一定の利用者負担が必要です。

(1) 土曜日の利用希望

- | | | |
|-----------------|---|--|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 ※24 時間表記
(:) から (:) まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜日・祝日の利用希望

- | | | |
|-----------------|---|--|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 ※24 時間表記
(:) から (:) まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

◆問 18 の (1) もしくは (2) で、「2.」または「3.」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 利用したい理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 仕事があるため | 2. 平日にできない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 家族・親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 休息・リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

◆「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 19 あて名のお子さんについて、春休み・夏休み・冬休みなど、長期休業中に、子どもを預かる施設やサービスの利用を希望しますか。（○は1つ）
※親族・知人による預かりは含みません。また、利用には一定の利用者負担が必要です。

- | | | |
|---------------------|---|--|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯 ※24 時間表記
(:) から (:) まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

8. 封筒のあて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。

◆問 20～問 20-3 は、平日に保育所や幼稚園などの施設やサービスを定期的に利用している方（問 13 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。→【該当しない方は、問 21 へお進みください】

問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがなどの理由により、保育所や幼稚園などの子どもを預かる施設やサービスが利用できなかったことはありますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. あった → 【問 20-1 へ】 | 2. なかった → 【問 21 へ】 |
|---------------------|--------------------|

問 20-1 あて名のお子さんが病気やけがにより、いつも利用している保育所や幼稚園など子どもを預かる施設やサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。（当てはまる番号すべてに○）また、対処した日数を記入してください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

対処の方法	日数（この1年間）
1. 父親が仕事などを休んで子どもを ^み 見た → 【問 20-2 へ】	() 日
2. 母親が仕事などを休んで子どもを ^み 見た → 【問 20-2 へ】	() 日
3. 父親または母親のうち、就労していない方が子どもを ^み 見た	() 日
4. （同居を含む）親族・知人・友人などに子どもを ^み てもらった	() 日
5. ベビーシッターを利用した	() 日
6. 病児・病後児のための保育施設 ^(※) を利用した	() 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
9. その他 ()	() 日

※「病児・病後児のための保育施設」とは？：子どもが病気にかかり、保護者も仕事などで子どもを^みられない時に、病気の子どものを一時的に保育する事業です。本市では、富田林病院内の保育施設「なでしこ保育園」で病児保育（回復期や症状の安定期に限る）を実施していますが、病後児保育は実施していません。

◆問 20-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をした方にうかがいます。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

（○は1つ） ※問 20-1 で対処した日数のうち何日利用したいかを（ ）に数字を記入。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい ⇒ () 日
 2. 利用したいとは思わない → 【問 20-3 へ】

◆問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をした方にうかがいます。

問 20-3 そう思われる理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 病気の子どもの家族以外の人に^みてもらうのは不安である
 2. 病気の子どもの家族が^みるべきである
 3. サービスの質に不安がある
 4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
 5. 利用料がかかる、高い
 6. 利用料がわからない
 7. 病児・病後児保育のことを知らなかった
 8. 父母が仕事を休んで対応できる
 9. その他 ()
 10. 特に理由はない

9. 封筒のあて名のお子さんの保育所や幼稚園などの不規則な利用や、宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 21 私用、ご自身の親や配偶者の親の通院、不規則の就労などを理由として、子どもを預かるサービスを「不規則に」利用していますか。（当てはまる番号すべてに○）

また、利用している場合は、この1年間の利用日数を記入してください。

※保育所や幼稚園などの定期的な利用や、子どもが病気のときの保育施設などの利用は除いてください。

※親族・知人による預かりなどは含みません。

不規則に利用しているサービス	利用日数（この1年間）
1. 一時預かり（保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）	（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター（登録会員（地域の人）が子どもをみてくれるサービス）	（ ）日
4. トワイライトステイ（児童養護施設などで、夜間や休日に子どもを一時的に預かるサービス）	（ ）日
5. ベビーシッターなどの家事育児代行サービスを利用した	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない → 【問 21-1 へ】	

◆問 21 で、「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. サービスの質に不安がある
3. サービスの利便性（利用の可能な時間、手続きの手間など）がよくない
4. 利用料がかかる、または、利用料が高い
5. サービスを知らない、または、利用方法がわからない
6. その他（ ）

問 22 私用、親の通院、不規則の就労などの目的で年間に何日くらい問 21 のようなサービスを利用する必要があると思いますか。（利用したいかどうか、いずれかに○）

また、利用したい場合、その理由の番号に○をつけて年間の日数を記入し、年間の合計日数についても記入してください。

1. 利用したい → 【問 22-1 へ】	年間（ ）日
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事、リフレッシュなど）	（ ）日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	（ ）日
③ 不規則の就労など	（ ）日
④ その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	

◆問 22 で、「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 問 22 の目的であて名のお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスを希望されますか。（当てはまる番号すべてに○）

- | |
|--|
| 1. 保育所や幼稚園などの施設で子どもをみてるサービス |
| 2. ファミリー・サポート・センターに登録している会員（地域の人）が、子どもをみてるサービス |
| 3. 児童養護施設などで、夜間や休日に子どもを一時的に預かるサービス |
| 4. つどいの広場・地域子育て支援センターなど、地域で子どもをみてるサービス |
| 5. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス |
| 6. その他（ <input type="text"/> ） |

問 23 この1年間に、保護者の都合や用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（当てはまる番号すべてに○）
また、あった場合は、この1年間の泊数を記入してください。

対処の方法	泊数（この1年間）
1. 祖父母、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合を含む）	（ <input type="text"/> ）泊
2. ショートステイ（児童養護施設などで一定期間子どもを預かるサービス）を利用した	（ <input type="text"/> ）泊
3. ベビーシッターなどの家事育児代行サービスを利用した	（ <input type="text"/> ）泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	（ <input type="text"/> ）泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ <input type="text"/> ）泊
6. その他（ <input type="text"/> ）	（ <input type="text"/> ）泊
7. なかった	



10. 封筒のあて名のお子さんの小学校入学後の放課後の過ごし方について、現在のイメージをお答えください。

◆問 24～問 27 は、封筒のあて名のお子さんが平成31年4月に小学校に入学される方にうかがいます。
 →【該当しない方は、問 28 へお進みください】

問 24 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

※「3. 学童クラブ」を選択された方は、時間を（例）18:00のように24時間表記でご記入ください。

過ごさせたい場所（現在のイメージ）	日 数
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅、親せき宅、友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 学童クラブ（※）	週（ ）日くらい 下校時から（ ）：（ ）まで
4. 児童館（市内1か所）	週（ ）日くらい
5. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（ ）※具体的な場所を記入	週（ ）日くらい

※「学童クラブ」とは？：保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を提供しながら預かることで、子どもの健全育成を図ります。本市では、すべての市立小学校に開設しており、小学1年生～6年生を対象に放課後や夏休みなどに利用していただけます。ただし、日曜日・祝日は開設していません。なお、利用には一定の条件と利用料が必要です。

問 25 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

※「3. 学童クラブ」を選択された方は、時間を（例）18:00のように24時間表記でご記入ください。

過ごさせたい場所（現在のイメージ）	日 数
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅、親せき宅、友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 学童クラブ（※）	週（ ）日くらい 下校時から（ ）：（ ）まで
4. 児童館（市内1か所）	週（ ）日くらい
5. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
7. その他（ ）※具体的な場所を記入	週（ ）日くらい

◆問 24 または問 25 で、「3. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 26 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に「学童クラブ」を利用することを希望しますか。（それぞれ○は1つ）

【土曜日の利用希望（現在のイメージ）】

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ※24 時間表記 (:) ~ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

【日曜日・祝日の利用希望（現在のイメージ）】

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ※24 時間表記 (:) ~ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

◆あて名のお子さんが平成31年4月に小学校に入学されるすべての方にうかがいます。

問 27 あて名のお子さんについて、春休み・夏休み・冬休みなどの長期休業中に「学童クラブ」を利用することを希望しますか。（○は1つ）

【長期休業中の利用希望（現在のイメージ）】

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	}	利用したい時間帯 ※24 時間表記 (:) ~ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

◆問 27 で「1.」「2.」のいずれかに○をした方にうかがいます。

問 27-1 春休み・夏休み・冬休みなどの長期休業中のみ「学童クラブ」を利用することを希望しますか。（○は1つ）

1. 長期休業中のみ利用したい
2. 長期休業中のみ利用は考えていない



11. 子育てと仕事の両立支援制度などについてうかがいます。

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業^(※)を取得しましたか。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)	2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない (出産に伴う退職を含む)	3. 取得していない
⇒ 取得していない理由 (いくつでも) ※下欄から番号を選んで記入	⇒ 取得していない理由 (いくつでも) ※下欄から番号を選んで記入

【取得していない理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ()

※「育児休業」とは? : 「育児・介護休業法」によって定められた制度で、原則として1歳に満たない子を養育するための休業制度のことです。

◆問 28 で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方それぞれ (母親・父親) にうかがいます。

問 28-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 【問28-2へ】	1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 【問28-2へ】
2. 現在も育児休業中である → 【問28-4へ】	2. 現在も育児休業中である → 【問28-4へ】
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

◆問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-2 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度^(※)を利用しましたか。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用しなかった (利用できなかった) → 【問28-3へ】	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用しなかった (利用できなかった) → 【問28-3へ】

※「短時間勤務制度」とは？：「育児・介護休業法」によって定められた、元々の労働時間よりも勤務時間を短くしたり、残業をなくしたりする働き方やその制度をさします。

◆問 28-2 で「3. 利用しなかった (利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 28-3 短時間勤務制度^(※)を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。

母親 (当てはまる番号すべてに○)	父親 (当てはまる番号すべてに○)
1. 利用しにくい雰囲気職場にあった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入園申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった 10. その他 ()	1. 利用しにくい雰囲気職場にあった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入園申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった 10. その他 ()

◆問 28-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。

問 28-4 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

12. ひとり親家庭への支援や施策についてうかがいます。

◆問 29～問 30 は、現在、ひとり親家庭の方にうかがいます。→【該当しない方は、問 31 へお進みください】

問 29 ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を図るため、本市が実施している次の支援や施策を知っていますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 「ひとり親家庭相談」…市役所内に母子・父子自立支援員を配置し、離婚前相談、養育相談、資格取得支援、就労支援、貸付制度などの相談に応じています。
2. 「母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金事業」…ひとり親家庭の親の自立に向けて、就業に有利な資格を取得するために専門学校などで修業する場合、修業期間中の一定期間、給付金を毎月支給します。
3. 「母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」…ひとり親家庭の親の就業支援に向けて、仕事に必要な資格や技術を身に付けるために、指定された講座を受講した場合、受講料などの一部を助成します。
4. 「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」…ひとり親家庭の親または児童が高卒認定試験合格のための講座（通信講座を含む）を受講し、これを修了および合格した場合、受講料などの一部を助成します。
5. 「母子・父子・寡婦福祉資金の貸付」…大阪府が実施する修学資金、就学支度資金、生活資金などの貸付制度の相談や申請を受け付け、生活の安定を支援しています。
6. すべて知らなかった

問 30 次の支援や施策についての利用意向をうかがいます。（当てはまる番号それぞれに○）

支援や施策 (本市で未実施の支援や施策もあります)	利用したい (必要ときには利用したい)	利用しない (必要ない)	関心がある (内容を詳しく知りたい)
ア. 就労支援	1	2	3
イ. ご自身の修学支援	1	2	3
ウ. ご自身の技能・資格習得支援	1	2	3
エ. 各種相談支援	1	2	3
オ. 経済的支援	1	2	3
カ. 養育費の確保支援	1	2	3
キ. 住宅支援	1	2	3
ク. 家事支援	1	2	3
ケ. 育児・子育て支援	1	2	3
コ. 子どもの学習支援	1	2	3
サ. 子どもの居場所（子ども食堂など）	1	2	3

13. 子育てに関する情報源についてうかがいます。

問 31 子育てに必要な情報をどのようなところから入手していますか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 市の広報誌やパンフレット 2. 市のウェブサイトや子育て応援サイト「TonTon」 3. 子育て雑誌、育児書 4. テレビ、ラジオ、新聞 5. 友人・知人からの情報 6. インターネットやSNS（ブログ、ツイッター、フェイスブックなど） 7. 隣近所、地域の人 8. 親族（きょうだい、祖父・祖母、おじ・おばなど） 9. 幼稚園、保育所、学校、またはその保護者の仲間 10. つどいの広場や地域子育て支援センター、子育てサークル、またはその保護者の仲間 11. その他（ ） 12. 情報の入手先がない、または情報の入手先や手段がわからない

14. 本市の子育て支援全般についてうかがいます。

問 32 お子さんを本市でこれまで育ててこられた中で、子育てに関する次の点についてどのように考えますか。（当てはまる番号それぞれに○）

項目	はい	いいえ	どちらでもない
ア. 幼児教育・保育の環境や子育て支援サービスに満足していますか	1	2	3
イ. 子どもがいても安心して働けると感じますか	1	2	3
ウ. 子どもにとって、本市が愛着のあるふるさととして認識され、成長できる環境にあると思いますか	1	2	3
エ. 障がいのある子どもを安心して育てられる環境であると感じますか	1	2	3
オ. ひとり親世帯や核家族世帯が、子どもを安心して育てられる環境であると感じますか	1	2	3
カ. 子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	1	2	3
キ. 公園や遊具など、遊び場が充実していると思いますか	1	2	3

問 33 富田林市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 思う

2. 思わない

問 34 最後に、子育ての環境や支援に関して、ご意見や困りごとがありましたら、ご自由にご記入ください。

この調査票を三つ折りにして、同封の封筒に入れて、切手は貼らずに3月20日(水)までにご返送ください。
調査にご協力いただき、ありがとうございました。

